

三角帆

＜あいさつ えがお おもいやり＞

本と出会う学校

図書室の先生が配置されている本校は、様々に工夫された本と出会う機会が一年中あり、図書室をはじめ学校中の本棚が充実しています。教育課程に朝読書を位置付けていますので、子どもたちは毎朝、お気に入りの本を開き目を輝かせて本の世界を楽しんでいます。そして、地域の読み聞かせサークル「ねぎぼうず」のみなさんが読み聞かせをしてくださる金曜日の朝は、子どもたちは、登校時からどんな絵本と出会うのか楽しみにして教室に向かっています。

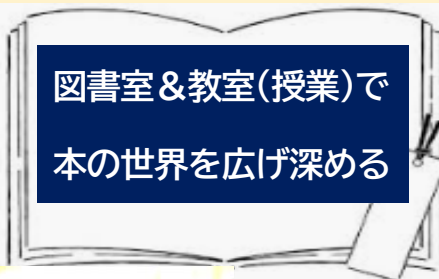
11月は、全校朝会で図書委員長が「今までで一番本を読みましょう!」と呼びかけてスタートしました。図書委員のみなさんは、運命の本と出会うことができる本のくじや紙芝居、人気の本コーナーなど、アイデアいっぱいの読書推進活動を展開し、本との出会いを演出しました。本に出会って、本の世界を楽しんで、心をぼかぼかさせて元気に成長する子どもたちを発見し、うれしく感じた読書の月でした。



図書委員長からメッセージ

◆本を通して心の世界と出会う

6年生は、筆者の考えを読み解きながら自分の心の世界を見つめる国語の授業を公開しました。幼稚園や中学校の先生も参観してくださいました。学び合う子どもたちの姿から、先生方も多くのことを学び合いました。



大好評の本のくじ。図書室は本と出会うパワースポットに



6年生国語の授業「ぼくの世界、きみの世界」より



2年生国語の授業「さがが大きくなるまで」より

◆探究しながら本を読む楽しさに出会う

2年生は、国語の授業で、大事な言葉を大切にしながら情報を読む楽しさに出会いました。さけの一生を物語にした絵本の読み聞かせや、サーモン科学館への見学、子どもたちの探究心に寄り添い高めていくガイドブックなどを工夫することで、読む楽しさを深く学ぶエネルギーにして成長する姿を見せてくれました。

野付の教育

海が見える図書室で 子どもたちを待つ本 5747 冊 + 白鳥号



大きな窓から野付湾を眺る開放的な図書室



人気の本ランキングコーナー

創新教育図書

本棚は出会いの演出と工夫がいっぱい!

野付湾の絶景をパノラマで見渡すことができる大きな窓から陽光が降り注ぐ図書室は、子どもたちが集まる本校のパワースポットです。先日、地域で取り組む読書推進活動が評価を受け、公益財団法人

創新教育芸術振興基金より、**創新教育図書**をいただきました。町からの予算で購入した本と合わせて、今年度新たに307冊の本が図書室に仲間入りしました。先月の別海町ビブリオバトルで紹介された本や、子どもたちが好きな図鑑や、シリーズの本、根室管内の絵本など、心をくすぐる本が加わり、図書室はますます充実しています。町図書館バス白鳥号もどんどん利用しています。

12月の行事予定

日	曜	予	定
1	木	3年社会科見学（駐在所）	
2	金	5年まわし読み新聞（野付中）	
3	土	スケートリンクペンキ塗り作業	
4	日		
5	月	5時間授業 【給・P週間～12/9】	
6	火	全校交流集会	
7	水	水曜日課 分掌部会	
8	木	縦割り班縄跳び②	
9	金	授業参観日 5時間授業(下校 13:50)	
10	土		
11	日		
12	月	5時間授業	
13	火	全校朝会 スケートリンク造成メンバー会議	
14	水	水曜日課 貯金日 職員会議	
15	木		
16	金		
17	土		
18	日		
19	月	委員会④ スマホ安全教室3h	
20	火	全校交流集会	
21	水	水曜日課 研修日⑪	
22	木		
23	金	2学期終業集会 5時間授業	
24	土	冬季休業～1月16日	1
25	日		2
26	月	【給・P口座振替日】	3
27	火		4
28	水		5
29	木	年末休業日 学校閉庁日	6
30	金	年末休業日 学校閉庁日	7
31	土	年末休業日 学校閉庁日	8

<今後の予定>

○スケートリンクペンキ塗り作業は12月3日（土）9:00～です。ご連絡いただいた方以外でも、都合がよくなった方がいましたらご連絡ください。多くの皆さんのご協力をお待ちしています。

○第2回学校評価アンケートについて、12月2日（金）にアンケートの入った封筒をお配りします。記入後、封筒に入れて12月9日（金）までに提出をお願いします。なお、複数の学年をまとめて評価するのは難しいとのご指摘もあり、一つの学年に対し1枚アンケートを書いていただく形にしました。

○冬休みは12月24日（土）～1月16日（月）の24日間、3学期は1月17日（火）からです。この日に学年の修了写真撮影を予定しています。学校閉庁日は12月29日（木）～1月3日（火）の6日間です。

まわし読み新聞・スマホ安全教室

野付学区の学校運営協議会が推進する学びの土台作りのための取組として、「まわし読み新聞」「スマホ安全教室」を行います。

まわし読み新聞は、北海道新聞社から講師をお招きして12月2日（金）に行います。5年生、中学2年生、学校運営協議会委員等で4人程度の小グループを作り、新聞から興味をもった記事を切り取り、お互いに感想等を交流し、更にそれを一つの模造紙にまとめてまわし読み新聞を作ります。大人や中学生の見方・考え方に触れ、視野を広げる機会です。

スマホ安全教室は、12月19日（月）に、小学校は4～6年を対象に行います。更に、参加者を幼小中の保護者にも広げ、家庭での話題にしてもらえることを想定して実施します。詳しくは明日配布の案内をご覧ください。スマホ安全教室への多くの方のご参加をお待ちしています。

下の句かるた体験

職員室前の廊下には、過去の下の句かるた大会の表彰状が飾られています。尾岱沼地区は昔から下の句カルタが盛んで、地域の活動として根付いています。今年も地域の指導者をお呼びして、1年生から4年生までを対象にかるた体験を行いました。地域の文化に触れる貴重な機会となりました。



酪農を学ぼう

毎年別海町は、女性農業士会のメンバーを学校に派遣していただいています。今年も2・3年生に向けて、「酪農家の食育出前授業」と題してお話をいただき、かるたを通して酪農について学びました。さらに、3年生は、地域産業を学ぶ社会科の一環で、1時間追加して酪農に関する疑問を答えていただく場をいただき、疑問を聞いてたくさんを学びました。



